

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置								
フリガナ設置者	コウリツダイガクホウジン メイオウダイガク 公立大学法人 名桜大学								
フリガナ大学の名称	メイオウダイガクダイガクイン 名桜大学大学院 (Graduate School of Meio University)								
大学の位置	沖縄県名護市字為又1220番地の1								
大学の目的	本大学院は、広い視野に立って精深な学識を授け、高度の専門性を要する職業等に必要高度の能力及び専攻分野における研究能力を養うことを目的とする。								
新設学部等の目的	本博士後期課程は、文化の多様性を理解し、グローバルな視点から国際社会が抱える多様かつ重要な課題の解決に向けた普遍的な研究を行い、高度な水準の研究を行うために必要な能力及びその基礎となる豊かな学識を有する創造性に富む人材を養成することを目的とする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	国際文化研究科 (Graduate School of International Cultural Studies) 国際地域文化専攻 (International Culture and Area Studies) 【博士後期課程】	3年	2人	-	6人	博士 (国際地域文化)	平成31年4月 第1年次	沖縄県名護市為又字 1220番地の1	
計		2	-	6					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	国際文化研究科 国際地域文化専攻 (博士後期課程)	講義	演習	実験・実習	計	20単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設分	国際文化研究科	9人	2人	0人	0人	11人	0人	1人
		国際地域文化専攻 (博士後期課程)	(9)	(2)	(0)	(0)	(11)	(0)	(1)
	計		9	2	0	0	11	0	-
			(9)	(2)	(0)	(0)	(11)	(0)	(-)
	既設分	国際文化研究科	27	7	1	0	35	0	13
		国際文化システム専攻 (修士課程)	(27)	(7)	(1)	(0)	(35)	(0)	(13)
看護学研究科		10	4	1	0	15	0	18	
		(10)	(4)	(1)	(0)	(15)	(0)	(18)	
計		37	11	2	0	50	0	-	
		(37)	(11)	(2)	(0)	(50)	(0)	(-)	
合計		37	11	2	0	50	0	-	
		(37)	(11)	(2)	(0)	(50)	(0)	(-)	
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		
	事務職員		47人		44人		91人		
			(48)		(41)		(89)		
	技術職員		0		0		0		
			(0)		(0)		(0)		
図書館専門職員		2		0		2			
		(2)		(1)		(3)			
その他の職員		0		0		0			
		(0)		(0)		(0)			
計		49		44		93			
		(50)		(42)		(92)			

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	43,994 m ²	0 m ²	0 m ²	43,994 m ²					
	運 動 場 用 地	17,465 m ²	0 m ²	0 m ²	17,465 m ²					
	小 計	61,459 m ²	0 m ²	0 m ²	61,459 m ²					
	そ の 他	193,032 m ²	0 m ²	0 m ²	193,032 m ²					
	合 計	254,491 m ²	0 m ²	0 m ²	254,491 m ²					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
		28,183 m ² (28,183 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	28,183 m ² (28,183 m ²)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	32室	13室	10室	5室 (補助職員 - 人)	1室 (補助職員 - 人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数		大学全体				
		国際文化研究科 国際地域文化専攻 (博士後期課程)		11 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での 共用分 図書：159,697 〔39,100〕 学術雑誌 529〔106〕 電子ジャーナル 4,180〔2,401〕 視聴覚資料 3,288		
	国際文化研究科 国際地域文化専攻 (博士後期課程)	1,050〔300〕 (500〔100〕)	5〔5〕 (5〔5〕)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		- (-)	
	計	1,050〔300〕 (500〔100〕)	5〔5〕 (5〔5〕)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		- (-)	
図 書 館		面積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体				
		4,001 m ²	500 席	300,000 冊						
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
		1,770.4 m ²	多目的グラウンド、多目的広場、野球場1面、 テニスコート2面、屋内プール、トレーニング室							
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	研究科単位での 算出不能なため 学部との合計
		教員1人当り研究費等		250千円	250千円	250千円	-	-	-	
		共同研究費等		7,200千円	7,200千円	7,200千円	-	-	-	
		図 書 購 入 費	2,600千円	1,800千円	1,600千円	250千円	-	-	-	
	設 備 購 入 費	900千円	400千円	400千円	400千円	-	-	-	図書費には、電子 ジャーナル、デー タベースの整備費 (運用コスト含 む)を含む	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	地域内 地域外		
		660千円	535千円	535千円	- 千円	- 千円	- 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		運営交付金、雑収入等								
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	名桜大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	国際学群 国際学類	4	280	15	1,150	学士(国際文化学) 学士(経営情報学) 学士(観光産業学)	1.07 1.07	平成19年度	沖縄県名護市字為 又1220番地の1	
	人間健康学部 スポーツ健康学科 看護学科	4	175 95	10 5	720 390	学士(スポーツ健康学)	1.06 1.06	平成17年度 平成19年度		
	大学院 国際文化研究科 国際システム専攻 看護学研究科 看護学専攻	2	6	-	12	修士(国際文化)	0.99	平成13年度		
		2	6	-	12	修士(看護学)	0.99	平成23年度		

<p>附属施設の概要</p>	<p>○多目的ホール（鉄筋コンクリート3階建） 目的：多目的施設（IT技術者の育成、デジタルコンテンツの制作・配信、教育研究等イベント対応） 所在地：沖縄県名護市字為又1220番地の1 設置年月日：平成11年5月 規模：2,872㎡</p> <p>○留学生センター（鉄筋コンクリート4階建） 目的：外国人留学生等の寄宿 所在地：沖縄県名護市字為又1220番地の1 設置年月日：平成12年3月 規模：1,966㎡</p> <p>○総合研究所（鉄筋コンクリート2階建） 目的：学際的研究 所在地：沖縄県名護市字為又1220番地の1 設置年月日：平成12年3月 規模：854㎡</p> <p>○北部生涯学習推進センター（鉄筋コンクリート2階建） 目的：生涯学習・地域振興に資する人材育成，産官学連携事業等 所在地：沖縄県名護市字為又1220番地の1 設置年月日：平成16年9月 規模：6,379㎡</p> <p>○北部地域看護系医療人材育成支援施設（鉄筋コンクリート3階建） 目的：看護専門職に資する人材育成等 所在地：沖縄県名護市字為又1220番地の1 設置年月日：平成21年3月 規模：3,762㎡（図書室144㎡，36席含む）</p> <p>○学生会館SAKURAUM（鉄筋コンクリート6階建） 目的：教員、職員、学生が自立的に学習できる環境の実現 所在地：沖縄県名護市字為又1220番地の1 設置年月日：平成26年12月 規模：6,191㎡</p>	
----------------	---	--

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要														
(国際文化研究科国際地域文化専攻(D))														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	国際地域文化総合演習Ⅰ	1前	2				○		5					共同
	国際地域文化総合演習Ⅱ	2前	2				○		5					共同
	小計（2科目）	—	4	0	0		—		5	0	0	0	0	
専門科目	琉球・沖縄文化特論	1前		2			○		1					
	琉球文学特論	1前		2			○			1				
	南島民俗文化特論	1前		2			○		1					
	中国琉球関係史特論	1前		2			○		1					
	アメリカ環境文学特論	1前		2			○		1					
	中南米地域文化特論	1前		2			○		1					
	東アジア地域文化特論	1前		2			○			1				
	東南アジア地域文化特論	1休		2			○							兼1 集中
	言語学特論	1前		2			○		1					
	英語教育特論	1前		2			○		1					
	現代沖縄教育特論	1前		2			○		1					
	アジア太平洋国際関係特論	1前		2			○		1					
	小計（12科目）	—	0	24	0		—		9	2	0	0	0	兼1
研究指導科目	特別演習Ⅰ	1前	2				○		5					
	特別演習Ⅱ	1後	2				○		5					
	特別演習Ⅲ	2前	2				○		5					
	特別演習Ⅳ	2後	2				○		5					
	特別演習Ⅴ	3前	2				○		5					
	特別演習Ⅵ	3後	2				○		5					
	小計（6科目）	—	12	0	0		—		5	0	0	0	0	
合計（20科目）			—	16	24	0	—		9	2	0	0	0	兼1
学位又は称号	博士（国際地域文化）		学位又は学科の分野				文学関係							
修了要件及び履修方法								授業期間等						
修了要件は、博士後期課程に3年間在籍し、必要な研究指導を受けた上、次の要件を満たすこととする。 ・共通科目（必修）の2科目4単位、専門科目（選択）から2科目4単位以上、研究指導科目（必修）の6科目12単位、合計10科目20単位以上を修得すること。 ・研究論文1編以上が査読付学術誌において掲載、または受理された上で博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。								1学年の学期区分			2期			
								1学期の授業期間			15週			
								1時限の授業時間			90分			

教育課程等の概要															
(国際文化研究科国際文化システム専攻 (M))															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	人文科学特論	1・2		2		○			1						兼2 オムニバス
	政策科学特論	1・2		2		○			1						
	社会心理学特論	1・2		2		○			1						
	環境科学特論	1・2		2		○			1						
	健康科学特論	1・2		2		○			1						
	学術研究方法特論	1	2			○			6						
	小計 (6 科目)	—	2	10	0				9	0	0	0	0	0	
教育研究領域科目	言語文化研究演習 I	1		4			○		6	1					兼1 兼1 集中 集中
	言語文化研究演習 II	2		4			○		6	1					
	言語学特論 I	1・2		2		○			1						
	言語学特論 II	1・2		2		○			1						
	英文学特論	1・2		2		○					1				
	米文学特論	1・2		2		○			1						
	地域言語学特論 I	1・2		2		○									
	地域言語学特論 II	1・2		2		○									
	英文法特論	1・2		2		○			1						
	英語音声学特論	1・2		2		○			1						
	英語教授法特論 I	1・2		2		○			1						
	英語教授法特論 II	1・2		2		○			1						
	英語教育評価特論	1・2		2		○			1						
	リサーチ方法特論	1・2		2		○			1						
	理論言語学特論	1・2		2		○			1						
	第2言語習得特論	1・2		2		○			1						
	教育学特論	1・2		2		○			1						
	比較教育文化思想特論	1・2		2		○			1						
	東南アジア文化特論	1・2		2		○			1						
	中南米文化特論	1・2		2		○			1						
	日本古典文学特論	1・2		2		○			1						
	日本近代文学特論	1・2		2		○				1					
	日本史特論	1・2		2		○				1					
	沖縄地域文化研究特論	1・2		2		○									
	琉球歴史学特論	1・2		2		○									
	琉球文学特論	1・2		2		○				1					
	言語文化特別講義 I	1・2		2		○									
	言語文化特別講義 II	1・2		2		○									
小計 (28 科目)	—	0	60	0				8	4	1	0	0	0		
社会制度政策教育研究領域	社会制度政策研究演習 I	1		4			○		1						兼1 兼1 集中 集中
	社会制度政策研究演習 II	2		4			○		1						
	国際政治特論 I	1・2		2		○			1						
	国際政治特論 II	1・2		2		○			1						
	地域開発政策特論	1・2		2		○				1					
	都市政策特論	1・2		2		○									
	地方自治特論	1・2		2		○									
	地域活性化特論	1・2		2		○			1						
	経済政策特論	1・2		2		○			1						
	国際経済特論	1・2		2		○									
	産業政策特論	1・2		2		○									
	公法学特論	1・2		2		○				1					
	東アジア地域特論	1・2		2		○				1					
	国際協力・ボランティア特論	1・2		2		○			1						
	社会制度政策特別講義 I	1・2		2		○									
	社会制度政策特別講義 II	1・2		2		○									
小計 (16 科目)	—	0	36	0				3	3	0	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手			
経営情報教育研究領域	経営情報研究演習Ⅰ	1		4			○		7								
	経営情報研究演習Ⅱ	2		4			○		7								
	経営戦略特論	1・2		2		○				1							
	比較経営学特論	1・2		2		○				1							
	産業組織特論	1・2		2		○			1								
	小集団心理学特論	1・2		2		○			1								
	人的資源管理特論	1・2		2		○			1								
	経営活動情報特論	1・2		2		○			1								
	e-ビジネス特論	1・2		2		○			1								
	情報交流特論	1・2		2		○			1								
	情報知能特論	1・2		2		○			1								
	情報・通信技術特論	1・2		2		○			1								
	会計学特論	1・2		2		○			1								
	マーケティング特論	1・2		2		○											兼1
	経営情報特別講義Ⅰ	1・2		2		○											兼1
	経営情報特別講義Ⅱ	1・2		2		○											兼1
小計(16科目)	—	0	36	0				7	2	0	0	0				兼3	
観光環境教育研究領域	観光環境研究演習Ⅰ	1		4			○		2								
	観光環境研究演習Ⅱ	2		4			○		2								
	観光開発特論	1・2		2		○				1							
	観光政策特論	1・2		2		○				1							
	観光文化特論	1・2		2		○				1							
	観光資源特論	1・2		2		○				1							
	観光市場分析特論	1・2		2		○			1								
	観光調査法特論	1・2		2		○			1								
	ホテル実務特論	1・2		2		○											兼1
	異文化接触特論	1・2		2		○				1							
	島嶼開発特論	1・2		2		○											兼1
	島嶼文化特論	1・2		2		○			1								
	島嶼生態学特論	1・2		2		○			1								
	エコツアーリズム特論	1・2		2		○			1								
	観光環境特別講義Ⅰ	1・2		2		○											兼1
	観光環境特別講義Ⅱ	1・2		2		○											兼1
小計(16科目)	—	0	36	0				3	2	0	0	0				兼4	
健康科学研究領域	健康科学研究演習Ⅰ	1		4			○		2								
	健康科学研究演習Ⅱ	2		4			○		2								
	グローバル・ヘルステ論	1・2		2		○			1								
	健康心理学特論	1・2		2		○											兼1
	健康栄養学特論	1・2		2		○											兼1
	社会福祉学特論	1・2		2		○											兼1
	地域保健学特論	1・2		2		○											兼1
	健康・スポーツ指導特論	1・2		2		○			1								
	伝統武道特論	1・2		2		○											兼1
	スポーツレニング・コーチング特論	1・2		2		○			1								
	ヘルニア・リハビリテーション・ウエルネス特論	1・2		2		○											兼1
	健康科学特別講義Ⅰ	1・2		2		○											兼1
	健康科学特別講義Ⅱ	1・2		2		○											兼1
小計(13科目)	—	0	30	0				3	0	0	0	0				兼8	
合計(95科目)		—	2	208	0				33	11	1	0	0			兼29	
学位又は称号	修士(国際文化)		学位又は学科の分野			文学関係、経済学関係、社会学・社会福祉関係											
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
○修了要件は、大学院に2年以上在学し、講義科目22単位以上、演習科目8単位、合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。																	
○共通科目：必修を含め、6単位以上履修すること。								1学年の学期区分					2期				
○教育研究領域科目(5領域)																	
言語文化：言語文化研究演習Ⅰ、言語文化研究演習Ⅱを含め、24単位以上履修すること。																	
社会制度政策：社会制度政策研究演習Ⅰ、社会制度政策研究演習Ⅱを含め、24単位以上履修すること。								1学期の授業期間					15週				
経営情報：経営情報研究演習Ⅰ、経営情報研究演習Ⅱを含め、24単位以上履修すること。																	
観光環境：観光環境研究演習Ⅰ、観光環境研究演習Ⅱを含め、24単位以上履修すること。																	
健康科学：健康科学研究演習Ⅰ、健康科学研究演習Ⅱを含め、24単位以上履修すること。								1時限の授業時間					90分				
各領域科目における、6単位は他の領域及び看護学研究科の共通選択科目から履修することができる。ただし、看護学研究科の共通選択科目の履修は上限4単位とする。																	

教育課程等の概要																
(国際学群国際学類)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	アカデミック	教養演習Ⅰ	1・2・3・4	2				○		4	6	1			兼1	
		教養演習Ⅱ	1・2・3・4	2				○		3	6	1				
		コンピュータ・リテラシー	1・2・3・4	2				○							兼4	
		アカデミックライティングⅠ	1・2・3・4	2				○		3	4	2				
		アカデミックライティングⅡ	1・2・3・4		2			○		3	4	2				
		アカデミックスキル特別講義	1・2・3・4		2			○			1					
	小計(6科目)			8	4				6	7	3	0	0		兼6	
	デザイン	大学と人生	1・2・3・4	2				○		1		1				
		ライフデザイン特別講義	1・2・3・4		2			○							兼1	
		キャリアデザイン	1・2・3・4		2			○							兼1	
		プロジェクト学習	1・2・3・4		2			○			1				集中	
	小計(4科目)			2	6				1	1	1	0	0		兼2	
	思想と論理	人間と環境	1・2・3・4		2			○		1						
		生命と倫理	1・2・3・4		2			○							兼1	
		科学入門	1・2・3・4		2			○							兼1	
		論理学	1・2・3・4		2			○		1						
		思想と論理特別講義	1・2・3・4		2			○				1				
		小計(5科目)			0	10				2	0	1	0	0		兼2
	沖縄理解	沖縄学	1・2・3・4		2			○			2					
		沖縄の自然	1・2・3・4		2			○							兼1	
		沖縄の言語	1・2・3・4		2			○							兼1	
		沖縄理解特別講義	1・2・3・4		2			○							兼1	
小計(4科目)			0	8				0	2	0	0	0		兼3		
健康スポーツ	体育実技Ⅰ	1・2・3・4		1				○	2		2	1		兼3		
	体育実技Ⅱ	1・2・3・4		1				○	1	1	3	1		兼4		
	健康・スポーツ科学	1・2・3・4		2			○		1	1						
	健康スポーツ特別講義	1・2・3・4		2			○				1					
	健康スポーツ特別実技	1・2・3・4		1				○			1					
小計(5科目)			0	7				3	2	4	1	0		兼7		
外国語	ベーシック・イングリッシュ	1・2・3・4	2				○					1		兼4		
	イングリッシュ・コミュニケーション	1・2・3・4	2				○					1		兼4		
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4		2			○							兼1		
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4		2			○							兼1		
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4		2			○							兼1		
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4		2			○							兼1		
	スペイン語Ⅰ	1・2・3・4		2			○				1			兼3		
	スペイン語Ⅱ	1・2・3・4		2			○				1			兼3		
	ポルトガル語Ⅰ	1・2・3・4		2			○		1							
	ポルトガル語Ⅱ	1・2・3・4		2			○		1							
	中国語Ⅰ	1・2・3・4		2			○			3						
	中国語Ⅱ	1・2・3・4		2			○			3						
	韓国語Ⅰ	1・2・3・4		2			○			1				兼2		
	韓国語Ⅱ	1・2・3・4		2			○			1				兼2		
	タイ語Ⅰ	1・2・3・4		2			○		1					兼1		
	タイ語Ⅱ	1・2・3・4		2			○		1					兼1		
	外国語特別講義	1・2・3・4		2			○			1						
アカデミック英語基礎	2・3・4	2				○		1		1	1					
ブラクティカル・イングリッシュⅠ	2・3・4		2			○							兼1			
ブラクティカル・イングリッシュⅡ	2・3・4		2			○							兼1			
ビジネス英語Ⅰ	2・3・4		2			○							兼1			
ビジネス英語Ⅱ	2・3・4		2			○							兼1			
小計(22科目)			6	38					3	4	2	1	0	兼16		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	国際理解	国際学入門	1・2・3・4	2		○			1	1						
		異文化接触論	1・2・3・4	2		○			1							
		国際社会と日本	1・2・3・4	2		○			1							
		人権と平和	1・2・3・4	2		○				1						
		国際コミュニケーション論	1・2・3・4	2		○					1				兼1	
		海外スタディツアー	1・2・3・4	2				○			1	1	1			集中
		国際理解特別講義	1・2・3・4	2			○			1						
	小計 (7 科目)			0	14				3	3	1	1	0	兼1		
	人文科学	生活と音楽	1・2・3・4	2		○									兼1	
		美術の歴史と鑑賞	1・2・3・4	2		○			1							
		哲学	1・2・3・4	2		○				1						
		心理学	1・2・3・4	2		○					1					
		歴史学	1・2・3・4	2		○									兼1	
		教育学	1・2・3・4	2		○									兼1	
		ヒューマンケアリング	1・2・3・4	2		○			5	4	3	1				オムニバス
		文学	1・2・3・4	2		○			1	1						
		人文科学特別講義	1・2・3・4	2		○			1							
	小計 (9 科目)			0	18				8	6	4	1	0	兼3		
	社会科学	法学	1・2・3・4	2		○									兼1	
		憲法	1・2・3・4	2		○				1					兼1	
		政治学	1・2・3・4	2		○									兼1	集中
		経済学	1・2・3・4	2		○				1						
		経営学	1・2・3・4	2		○					1					
		社会学	1・2・3・4	2		○									兼1	
		人文地理学	1・2・3・4	2		○					1					
		社会科学特別講義	1・2・3・4	2		○				1						
	小計 (8 科目)			0	16				0	2	2	0	0	兼3		
	自然科学	数学	1・2・3・4	2		○			1							
		統計学	1・2・3・4	2		○			2						兼1	
		物理学	1・2・3・4	2		○									兼1	
		化学	1・2・3・4	2		○			1							
		生物学	1・2・3・4	2		○			1							
		地学	1・2・3・4	2		○									兼1	
情報科学と社会		1・2・3・4	2		○			1						兼1		
自然科学特別講義		1・2・3・4	2		○			1								
小計 (8 科目)			0	16				5	0	0	0	0	兼3			
専門教育科目	人文科学系科目	日本語理解論	1・2・3・4	2		○			1							
		日本史入門	1・2・3・4	2		○									兼1	
		日本文化概論	2・3・4	2		○				1						
		文化人類学	2・3・4	2		○			1							
		人間関係論	2・3・4	2		○			1							
		日本語表現論	2・3・4	2		○									兼1	
		小計 (6 科目)			0	12				3	1	0	0	0	兼2	
	社会科学系科目	経営統計学	1・2・3・4	2		○									兼1	
		観光学概論	1・2・3・4	2		○				1						
		地域研究方法論	2・3・4	2		○				1	1					
		社会調査法	2・3・4	2		○			1							
		経営情報論	2・3・4	2		○			1							
		地域社会論	2・3・4	2		○				1						
		社会心理学	2・3・4	2		○			1							
	小計 (7 科目)			0	14				2	3	1	0	0	兼1		
	自然科学系科目	コンピュータ概論	1・2・3・4	2		○				1						
		情報処理論	2・3・4	2		○				1						
		情報化社会論	2・3・4	2		○			1							
		自然保護論	2・3・4	2		○			1							
		沖縄の天然記念物	2・3・4	2		○									兼1	
		島嶼環境論	2・3・4	2		○			1							
		情報と職業	2・3・4	2		○			1							
	小計 (7 科目)			0	14				4	1	0	0	0	兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学類共通専門教育科目	学際・統合科目	国際学群特別講義	1・2・3・4	2			○								兼1	
		国際文化系基礎演習	2・3・4	1				○		6	3	1				オムニバス
		語学教育系基礎演習	2・3・4	1				○		5	3	2				
		経営系基礎演習	2・3・4	1				○		3	2	2				
		情報システムズ系基礎演習	2・3・4	1				○		4	2					
		診療情報管理系基礎演習	2・3・4	1				○		1	1	1				
		観光産業系基礎演習	2・3・4	1				○			1	1				
		国際文化専門演習 I	3・4	2				○		11	6	3				
		経営情報専門演習 I	3・4	2				○		8	5	3				
		観光産業専門演習 I	3・4	2				○		4	5	2				
		国際文化専門演習 II	3・4	2				○		11	6	3				
		経営情報専門演習 II	3・4	2				○		8	5	3				
		観光産業専門演習 II	3・4	2				○		4	5	2				
		国際文化専門演習 III	4	2				○		11	6	3				
		経営情報専門演習 III	4	2				○		8	5	3				
		観光産業専門演習 III	4	2				○		4	5	2				
		国際文化専門演習 IV	4	2				○		11	6	3				
		経営情報専門演習 IV	4	2				○		8	5	3				
		観光産業専門演習 IV	4	2				○		4	5	2				
小計 (19 科目)			24	8					23	16	8	0	0	兼1		
専門教育科目	人文科学系科目	漢文講読	1・2・3・4	2			○			1						
		書写・書道概論	1・2・3・4	2			○								兼1	
		中級英語リスニング	1・2・3・4	2			○								兼1	
		中級オーラルコミュニケーション	1・2・3・4	2			○				1				兼1	
		中級英語講読	1・2・3・4	2			○								兼1	
		中級英作文	1・2・3・4	2			○					1			兼1	
		比較芸術論	1・2・3・4	2			○			1						
		比較宗教論	1・2・3・4	2			○			1						
		言語と文学	2・3・4	2			○			2	1					
		比較思想論	2・3・4	2			○				1					
		日本の歴史	2・3・4	2			○				1					
		英米文化概論 I	2・3・4	2			○				1				兼1	
		英米文化概論 II	2・3・4	2			○				1				兼1	
		異文化コミュニケーション論	3・4	2			○								兼1	
		沖縄地域文化論	2・3・4	2			○				1					
		島嶼文化論	2・3・4	2			○								兼1	
		観光文化論	2・3・4	2			○				1				集中	
		比較映像文化論	2・3・4	2			○			1						
		言語学概論 I	2・3・4	2			○			1						
		言語学概論 II	2・3・4	2			○			1						
		日本語学概論	2・3・4	2			○								兼1	
		南島歌謡	2・3・4	2			○				1					
		日本語史	2・3・4	2			○								兼1	
		中南米の言語と文化	2・3・4	4			○								兼1	
		英語音声学	2・3・4	2			○								兼1	
		英文法	2・3・4	2			○			1						
		イギリス文学	2・3・4	2			○					1				
		沖縄の文学	2・3・4	2			○				1					
		準高等英語リスニング	2・3・4	2			○								兼1	
		準高等オーラルコミュニケーション	2・3・4	2			○				1				兼1	
		準高等英語講読	2・3・4	2			○			1						
		準高等英作文	2・3・4	2			○					1			兼1	
		高等英語リスニング	2・3・4	2			○			1						
		高等オーラルコミュニケーション	2・3・4	2			○				1				兼2	
高等英語講読	2・3・4	2			○			1								
高等英作文	2・3・4	2			○					1			兼1			
観光実用英語 I	2・3・4	2			○								兼1			
観光実用英語 II	2・3・4	2			○								兼1			
ビジュアルコミュニケーション入門	2・3・4	2			○			1								
沖縄の社会	2・3・4	2			○				1							

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専攻専門教育科目	人文科学系科目	アジアの宗教	2・3・4	2		○			1								
		国際文化特別講義Ⅰ	2・3・4	2		○										兼1	
		国際文化特別講義Ⅱ	2・3・4	2		○										兼1	
		語学教育特別講義Ⅰ	2・3・4	2		○										兼1	
		語学教育特別講義Ⅱ	2・3・4	2		○										兼1	
		日本史史料講読	2・3・4	2		○					1						
		観光実用韓国語	2・3・4	2		○					1						
		観光実用中国語	2・3・4	2		○					1						
		中南米の歴史	2・3・4	2		○				1							
		日本古典文学史	2・3・4	2		○				1							
		日本近代文学史	2・3・4	2		○				1							
		日本古典文学概論	2・3・4	2		○				1							
		日本近代文学概論	2・3・4	2		○					1						
		日本の社会	2・3・4	2		○				1							
		日本の宗教	2・3・4	2		○				1							
		移民と異文化	3・4	2		○				1						兼1	
		中南米の社会	3・4	2		○				1							
		地域文化演習	3・4	2				○		5	3	2					
		現地実習	3・4	4					○	5	3	2					
		アジアの言語	3・4	2		○				1							
		英語学概論	3・4	2		○				1							
		アメリカ文学	3・4	2		○						1					
		アジアの文学	3・4	2		○					1						
		アジアの歴史	3・4	2		○				1							
		アジアの文化	3・4	2		○					1						
		通訳技法	3・4	4		○				1							
		外書講読	3・4	4		○				2	3	1					
		小学校英語教育教授論	3・4	2		○										兼1	
		職業指導Ⅰ	3・4	2		○				1							
		職業指導Ⅱ	3・4	2		○					1					集中	
		日本語教授法	3・4	2		○						1					
		ディベート	3・4	2		○				1							
		現代日本語論	3・4	2		○										兼1	
		日本近代文学論	3・4	2		○					1						
日本古典文学論	3・4	2		○				1									
中南米の民俗	3・4	2		○						1							
英語リサーチ・ライティング	3・4	2		○						1							
小計 (78 科目)			0	162	0				13	11	3	0	0	兼14			
専攻専門教育科目	社会科学系科目	民法と市民生活	1・2・3・4	2		○				1							
		簿記原理	1・2・3・4	4		○			1								
		上級簿記	1・2・3・4	4		○			1						兼1		
		経営学総論	1・2・3・4	2		○					1						
		ミクロ経済学	1・2・3・4	2		○			1								
		マクロ経済学	1・2・3・4	2		○			1								
		観光産業特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2		○			1	1							
		観光産業特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2		○			1	1							
		観光学総論	1・2・3・4	2		○				4	5	2				共同	
		地誌学	2・3・4	2		○						1					
		レジャー・レクリエーション論	2・3・4	2		○						1					
		観光関連法規	2・3・4	2		○					1						
		会社法	2・3・4	2		○										兼1	集中
		行政法	2・3・4	2		○					1						
		西欧経済史	2・3・4	2		○					1						
		財政学	2・3・4	2		○				1							
		沖縄観光	2・3・4	2		○					1						集中
観光行動論	2・3・4	2		○				1									
流通論	2・3・4	2		○					1								
観光開発論Ⅰ	2・3・4	2		○					1								

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	マーケティング論	2・3・4		2		○					1				
	観光調査法	2・3・4		4		○			1						
	観光交通論	2・3・4		2		○				1					
	最新ビジネス事情	2・3・4		2		○				1					集中
	原価計算	2・3・4		2		○			1					兼1	
	経営組織論	2・3・4		2		○					1				
	経営戦略論	2・3・4		2		○				1					
	会計学原理	2・3・4		2		○			1						
	イベント事業論	2・3・4		2		○				1					
	エコツアーリズムⅠ	2・3・4		2		○			1						
	国際機構論	2・3・4		2		○			1						
	ホスピタリティ概論	2・3・4		2		○			1						
	観光事業論	2・3・4		2		○					1				
	国際経済論	2・3・4		2		○			1						
	金融論	2・3・4		2		○			1						
	ベンチャービジネス	2・3・4		2		○				1					
	経営特別講義Ⅰ	2・3・4		2		○				1					
	経営特別講義Ⅱ	2・3・4		2		○				1					
	観光地理学	2・3・4		2		○					1				
	観光産業論	2・3・4		2		○				1					
	経営管理論	2・3・4		2		○					1				
	問題解決の心理学	2・3・4		2		○			1						
	旅行業経営論	2・3・4		4		○								兼1	
	旅行業法と約款	2・3・4		2		○								兼1	
	人的資源管理論	3・4		2		○					1				
	地方自治論	2・3・4		2		○								兼1	
	国際関係論	2・3・4		2		○			1						
	国際政治論	2・3・4		2		○			1						
	市場調査論	2・3・4		2		○					1				
	交通産業論	3・4		2		○				1					
	経済政策	3・4		2		○			1						
	観光政策論	3・4		2		○				1					
	地域経済学	3・4		2		○				1					
	観光経済学	3・4		2		○				1					
	観光開発論Ⅱ	3・4		2		○				1					
	ホテル計画論	3・4		4		○								兼1	
	ロジスティックス論	3・4		2		○								兼1	
	産業情報論	3・4		2		○			1						
	ホスピタリティーマーケティング論	3・4		4		○			1						
	経営分析論	3・4		2		○			1						
	ホテル実務	3・4		6				○	1						
	インターンシップ基礎	3・4		2		○			1	2	2				
	インターンシップ実践	3・4		4				○	1	2	2				
	海外インターンシップ	3・4		4				○		1	1				
	エコツアーリズムⅡ	3・4		2		○			1						
	ホテル経営論	3・4		2		○			1						
	国際コンベンションビジネス	3・4		2		○				1					
	ホスピタリティマネジメント論	3・4		2		○			1						
	観光資源論	3・4		2		○					1				
	アジアの政治と社会	3・4		2		○				1					
	組織心理学	3・4		2		○			1						
	対人コミュニケーション論	3・4		2		○			1						
	チームマネジメントの心理学	3・4		2		○			1						
	余暇社会学	3・4		2		○					1				
	地域マーケティング論	3・4		2		○								兼1	
	観光関連実務	3・4		6				○						兼1	
	小計 (77 科目)			0	176	0				8	8	4	0	0	兼8

専攻専門教育科目
 社会科学系科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	プログラミング入門	1・2・3・4		2			○		1						
	コンピュータ・グラフィックス	1・2・3・4		2			○			1					
	ウェブデザイン	1・2・3・4		2			○		1						
	ウェブグラフィックス	1・2・3・4		2			○		1						
	診療情報管理論	1・2・3・4		2			○				1				
	人体構造・機能及び医療用語	1・2・3・4		2			○			1					
	医療概論及び臨床医学総論	1・2・3・4		2			○			1					
	臨床医学各論Ⅰ	1・2・3・4		2			○			1					
	医療管理総論	1・2・3・4		2			○				1				
	医療事務総論	1・2・3・4		2			○				1				
	医療情報学	1・2・3・4		2			○		1						
	ゴルフⅠ	1・2・3・4		1				○	1	1					兼1
	ゴルフⅡ	1・2・3・4		1				○	1	1					兼1
	スクーバダイビング	1・2・3・4		1				○		1					集中
	野外活動演習	1・2・3・4		2				○							兼1
	救急処置	1・2・3・4		2				○							兼1
	データ処理入門	1・2・3・4		2				○		1					
	地球の環境とその保全	1・2・3・4		2				○	1						
	診療情報管理特別講義Ⅰ	2・3・4		2				○		1	1				共同
	診療情報管理特別講義Ⅱ	2・3・4		2				○		1	1				共同
	沖縄の植物と保護	2・3・4		2				○							兼1
	自然地理学概論	2・3・4		2				○							兼1
	国際ネットワーク論	2・3・4		2				○	1						
	ネットワークの構築と運用	2・3・4		2				○		1					
	プログラミング言語論	2・3・4		2				○	1	1					
	上級プログラミング	2・3・4		4				○	1						
	アルゴリズム論	2・3・4		2				○	1						
	データベース概論	2・3・4		2				○			1				
	データベース実践	2・3・4		2				○			1				
	ネットワーク技術Ⅰ	2・3・4		2				○	1						
	ネットワーク技術Ⅱ	2・3・4		2				○	1						
	ウェブコンテンツ実践	2・3・4		2				○	1						
	臨床医学各論Ⅱ	2・3・4		2				○		1					
	臨床医学各論Ⅲ	2・3・4		2				○		1					兼1
	臨床医学各論Ⅳ	2・3・4		2				○		1					
	国際疾病分類法概論	2・3・4		2				○			1				
	国際疾病分類法演習Ⅰ	2・3・4		2				○		1					兼2
	空手	2・3・4		1				○							兼1
	スポーツ産業論	2・3・4		2				○							兼1
	ウェルネス概論	2・3・4		2				○		1					
	環境調査法	2・3・4		4				○	1						
	情報システムズ特別講義Ⅰ	2・3・4		2				○		2					共同
	情報システムズ特別講義Ⅱ	2・3・4		2				○		2					共同
	医療統計学	2・3・4		2				○	1						
	環境アセスメント論Ⅰ	3・4		2				○	1						
	環境アセスメント論Ⅱ	3・4		2				○	1						
	健康と長寿	3・4		2				○			1				
	自然観察指導法	3・4		4				○	1						
	システム設計論	3・4		2				○	1						
	ネットワーク技術Ⅲ	3・4		2				○	1						
	国際疾病分類法演習Ⅱ	3・4		2				○		1					兼2
	小計(51科目)			0	104	0				10	4	2	0	0	兼11

専攻専門教育科目
専門教育科目

自然科学系科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 日本語・日本事情	日本語Ⅰ	1・2・3・4		2											兼1
	日本語Ⅱ	1・2・3・4		2											兼3
	日本語Ⅲ	1・2・3・4		2							1				兼1
	日本語Ⅳ	1・2・3・4		2											兼2
	日本語Ⅴ	1・2・3・4		2											兼2
	日本事情Ⅰ	1・2・3・4		2					1						
	日本事情Ⅱ	1・2・3・4		2					1						
	日本事情Ⅲ	1・2・3・4		2					1						
	日本事情Ⅳ	1・2・3・4		2					1						
小計(9科目)			0	18	0				2	0	1	0	0	0	兼3
合計(332科目)			40	645	0				96	71	37	4	0		兼80
学位又は称号		学士(国際文化学), 学士(経営情報学) 学士(観光産業学)	学位又は学科の分野			文学関係、経済学関係、社会学・社会福祉関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
						1学年の学期区分			2期						
						1学期の授業時間			15週						
			1時限の授業時間			90分									
学士(国際文化学) 【国際文化専攻】 ・ <u>教養教育科目⇒必修16単位、選択26単位以上、計42単位以上</u> 共通コア科目：必修10単位、選択6単位以上 計16単位以上を修得すること。 共通選択科目：必修6単位、選択20単位以上 計26単位以上を修得すること。 外国語科目：必修6単位、選択4単位以上(英語以外の外国語(同言語の外国語科目4単位)を含む)を修得すること。 国際理解科目：選択4単位以上修得すること。 人文学科科目：選択4単位以上修得すること。 社会科学科目：選択4単位以上修得すること。 自然科学科目：選択4単位以上修得すること。 ・ <u>専門教育科目⇒必修19単位、選択37単位以上、計56単位以上</u> 学類共通専門教育科目：必修13単位、選択3単位以上 計16単位以上を修得すること。 人文科学系科目：専攻が定めた必修を含めて2単位以上修得すること。 社会科学系科目：専攻が定めた必修を含めて2単位以上修得すること。 自然科学系科目：選択2単位以上修得すること。 学際・統合系科目：必修9単位、選択1単位以上(希望する主専攻以外の専攻系基礎演習1単位を含む)を修得すること。 専攻専門教育科目：必修6単位、選択34単位以上 計40単位以上を修得すること。 ・ <u>自由選択科目⇒26単位以上</u> ・ <u>合計⇒124単位以上</u>															
学士(国際文化学) 【語学教育専攻】 ・ <u>教養教育科目⇒必修16単位、選択26単位以上、計42単位以上</u> 共通コア科目：必修10単位、選択6単位以上 計16単位以上を修得すること。 共通選択科目：必修6単位、選択20単位以上 計26単位以上を修得すること。 外国語科目：必修6単位、選択4単位以上(英語以外の外国語(同言語の外国語科目4単位)を含む)を修得すること。 国際理解科目：選択4単位以上修得すること。 人文学科科目：選択4単位以上修得すること。 社会科学科目：選択4単位以上修得すること。 自然科学科目：選択4単位以上修得すること。 ・ <u>専門教育科目⇒必修11単位、選択45単位以上、計56単位以上</u> 学類共通専門教育科目：必修9単位、選択7単位以上 計16単位以上を修得すること。 人文科学系科目：選択2単位以上修得すること。 社会科学系科目：選択2単位以上修得すること。 自然科学系科目：選択2単位以上修得すること。 学際・統合系科目：必修9単位、選択1単位以上(希望する主専攻以外の専攻系基礎演習1単位を含む)を修得すること。 専攻専門教育科目：必修2単位、選択38単位以上 計40単位以上を修得すること。 ・ <u>自由選択科目⇒26単位以上</u> ・ <u>合計⇒124単位以上</u>															
学士(経営情報学) 【経営専攻】 ・ <u>教養教育科目⇒必修16単位、選択26単位以上、計42単位以上</u> 共通コア科目：必修10単位、選択6単位以上 計16単位以上を修得すること。 共通選択科目：必修6単位、選択20単位以上 計26単位以上を修得すること。 外国語科目：必修6単位、選択4単位以上(英語を含めて、同言語の外国語科目4単位以上)を履修すること。 国際理解科目：選択4単位以上修得すること。 人文学科科目：選択4単位以上修得すること。 社会科学科目：選択4単位以上修得すること。 自然科学科目：選択4単位以上修得すること。 ・ <u>専門教育科目⇒必修17単位、選択39単位以上、計56単位以上</u> 学類共通専門教育科目：必修9単位、選択7単位以上 計16単位以上を修得すること。 人文科学系科目：選択2単位以上修得すること。 社会科学系科目：選択2単位以上修得すること。 自然科学系科目：選択2単位以上修得すること。 学際・統合系科目：必修9単位、選択1単位以上(希望する主専攻以外の専攻系基礎演習1単位を含む)を修得すること。 専攻専門教育科目：必修8単位、選択32単位以上 計40単位以上を修得すること。 ・ <u>自由選択科目⇒26単位以上</u> ・ <u>合計⇒124単位以上</u>															

学位又は称号	学士(国際文化学), 学士(経営情報学) 学士(観光産業学)	学位又は学科の分野	文学関係、経済学関係、社会学・社会福祉関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業時間	15週
		1時限の授業時間	90分
<p>学士(経営情報学)</p> <p>【情報システムズ専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>教養教育科目⇒必修16単位、選択26単位以上、計42単位以上</u> <ul style="list-style-type: none"> 共通コア科目：必修10単位、選択6単位以上 計16単位以上を修得すること。 共通選択科目：必修6単位、選択20単位以上 計26単位以上を修得すること。 外国語科目：必修6単位、選択4単位以上(英語を含めて、同言語の外国語科目4単位以上)を履修すること。 国際理解科目：選択4単位以上修得すること。 人文科学科目：選択4単位以上修得すること。 社会科学科目：選択4単位以上修得すること。 自然科学科目：選択4単位以上修得すること。 ・<u>専門教育科目⇒必修29単位、選択27単位以上、計56単位以上</u> <ul style="list-style-type: none"> 学類共通専門教育科目：必修13単位、選択3単位以上、計16単位以上を修得すること。 人文科学系科目：選択2単位以上修得すること。 社会科学系科目：専攻が定めた必修を含めて2単位以上修得すること。 自然科学系科目：専攻が定めた必修を含めて2単位以上修得すること。 学際・統合系科目：必修9単位、選択1単位以上(希望する主専攻以外の専攻系基礎演習1単位を含む)を修得すること。 専攻専門教育科目：必修16単位、選択24単位以上 計40単位以上を修得すること。 ・<u>自由選択科目⇒26単位以上</u> ・<u>合計⇒124単位以上</u> <p>学士(経営情報学)</p> <p>【診療情報管理専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>教養教育科目⇒必修16単位、選択26単位以上、計42単位以上</u> <ul style="list-style-type: none"> 共通コア科目：必修10単位、選択6単位以上 計16単位以上を修得すること。 共通選択科目：必修6単位、選択20単位以上 計26単位以上を修得すること。 外国語科目：必修6単位、選択4単位以上(英語を含めて、同言語の外国語科目4単位以上)を履修すること。 国際理解科目：選択4単位以上修得すること。 人文科学科目：選択4単位以上修得すること。 社会科学科目：選択4単位以上修得すること。 自然科学科目：選択4単位以上修得すること。 ・<u>専門教育科目⇒必修47単位、選択9単位以上、計56単位以上</u> <ul style="list-style-type: none"> 学類共通専門教育科目：必修13単位、選択3単位以上 計16単位以上を修得すること。 人文科学系科目：選択2単位以上修得すること。 社会科学系科目：専攻が定めた必修を含めて2単位以上修得すること。 自然科学系科目：専攻が定めた必修を含めて2単位以上修得すること。 学際・統合系科目：必修9単位、選択1単位以上(希望する主専攻以外の専攻系基礎演習1単位を含む)を修得すること。 専攻専門教育科目：必修34単位、選択6単位以上 計40単位以上を修得すること。 ・<u>自由選択科目⇒26単位以上</u> ・<u>合計⇒124単位以上</u> <p>学士(観光産業学)</p> <p>【観光産業専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>教養教育科目⇒必修16単位、選択26単位以上、計42単位以上</u> <ul style="list-style-type: none"> 共通コア科目：必修10単位、選択6単位以上 計16単位以上を修得すること。 共通選択科目：必修6単位、選択20単位以上 計26単位以上を修得すること。 外国語科目：必修6単位、選択4単位以上(英語を含めて、同言語の外国語科目4単位以上)を履修すること。 国際理解科目：選択4単位以上修得すること。 人文科学科目：選択4単位以上修得すること。 社会科学科目：選択4単位以上修得すること。 自然科学科目：選択4単位以上修得すること。 ・<u>専門教育科目⇒必修11単位、選択45単位以上、計56単位以上</u> <ul style="list-style-type: none"> 学類共通専門教育科目：必修11単位、選択5単位以上 計16単位以上を修得すること。 人文科学系科目：選択2単位以上修得すること。 社会科学系科目：専攻が定めた必修を含めて2単位以上修得すること。 自然科学系科目：選択2単位以上修得すること。 学際・統合系科目：必修9単位、選択1単位以上(希望する主専攻以外の専攻系基礎演習1単位を含む)を修得すること。 専攻専門教育科目⇒選択40単位以上修得すること。 ・<u>自由選択科目⇒26単位以上</u> ・<u>合計⇒124単位以上</u> 			

授 業 科 目 の 概 要			
(国際文化研究科 国際地域文化専攻 (D))			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	国際地域文化総合演習 I	本授業は、研究指導教員及び研究指導補助教員全員が参加し、学生の発表に対して異なる研究分野からの視点を導入することで学生に多様な視点から自らの課題を検討する機会を与え、環太平洋を中心とする地域文化について理解を深めることを目的とする。同時に博士後期課程における研究レベルへの導入的な役割も果たす。すなわち、学生は自らの課題について発表するとともに、異なる研究分野の専門家からのコメントや質問に応えながら、自らの研究の方向性を確認しテーマを深化することになる。教員は、総合演習に参加し、学生を中心とした討論を喚起することで、学生が自らの課題を総合的に把握することを支援する。	共同
	国際地域文化総合演習 II	本授業は、国際地域文化総合演習Iと同様、研究指導教員及び研究指導補助教員全員が参加し、学生の発表に対して異なる研究分野からの視点を導入することで学生に多様な視点から自らの課題を検討する機会を与え、環太平洋を中心とする地域文化について理解を深めることを目的とする。同時に博士後期課程2年次学生が、1年の研究期間を経た後で自らの課題について発表するとともに、異なる研究分野の専門家からのコメントや質問に応えながら、自らの研究テーマのさらなる深化を目指すものである。教員は、総合演習に参加し、学生を中心とした討論を喚起することで、学生が自らの課題を総合的に把握することを支援する。	共同
専門科目	琉球・沖縄文化特論	琉球語を母語とする奄美・沖縄・宮古・八重山地域は“琉球文化圏”と呼ばれ、歴史的に、日本や中国、東南アジアなど周辺諸国との交流によって、個性的な文化を育んできた。例えば、この地域には、ニライカナイ（海の彼方の万物の淵源の地）という海上世界の観念があるが、同時に、オボツカグラなどの天上世界観もある。さらには地下世界観を有する地域もあり、現実的にはこれらが重層しているといえる。これらの世界観を元に御嶽信仰と呼ばれる固有信仰が発達しているわけであるが、これらの世界観と固有信仰・民俗文化がどのように展開しているかを見定めることは、琉球・沖縄文化と日本および周辺地域の文化との比較研究のために不可欠なことである。本講座では、これら琉球文化圏で創造・享受されてきた文学（首里王府編『おもろさうし』〈1531～1623〉など）を素材として、この地域の人々が有する世界観・神観念などの民俗文化と想念世界について考えていく。	
	琉球文学特論	琉球とは、かつて琉球国があった時代とその地域、琉球文学とは、基本的に琉球国時代に琉球国内で生まれ、育まれた文学を意味する。具体的に挙げると、オモロ（『おもろさうし』）に代表される呪術文学、奄美・沖縄・宮古・八重山地域で歌い継がれている古謡や琉歌に代表される叙事・抒情文学、そして組踊に代表される劇文学等である。 本講では、それらの文学領域の中でも、特に『おもろさうし』以外の呪術文学（奄美のタハブエ、ナガレ歌、沖縄のミセセル、オタカベ、宮古のカンプツ、タービ、八重山のカンプツ、ニガイフツ等）および叙事・抒情文学、そして劇文学に焦点を当てて追究する。なお、受講生には主体性を求める。	
	南島民俗文化特論	南島、主に琉球諸島の民俗文化について、まじない、星と風、信仰習俗などを主たるテーマとして取り上げる。南島特有の精神風土に根ざしたまじない習俗について、文献資料の発掘とフィールドワークの成果を活かし、中国・日本との比較も視野に入れながら考察する。また南島の地理的環境がもたらす天文・自然と人々の暮らしとの関係性について、さらに中国・日本などの外来文化が受容され独自の展開を見せる民俗文化についても考察する。	
	中国琉球関係史特論	環東シナ海における地域間ネットワークといった広域的な問題を意識しながら、琉球の歴史的特質をさぐる。前近代的な課題を授業の対象とする。中琉関係史研究を通して地域研究の多様性、地域研究の動向を把握し、地域研究の課題と研究方法をさぐる。	
	アメリカ環境文学特論	20世紀後半から世界的に注目されるようになった環境文学について、アメリカ近現代詩及び小説を中心に研究する。環境文学は、人間であることの意味を問い直しつつ、世界の中の人間の位置を模索する文学であるが、その中で、文学における自然環境と人間の関係性に関する多様な表象の態様について、「地域」、「場所」、「定住」、「場所の感覚」、「移動の文化」等の概念に焦点を絞りつつ分析する。また、欧米の文学と日本文学を中心としたアジアの環境文学と比較研究を行うことで、21世紀における「場所と人間」、「環境と人間」、リージョナリズム等に関して思想的な分析を行う。	

授 業 科 目 の 概 要

(国際文化研究科 国際地域文化専攻 (D))

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目	中南米地域文化特論	ボーダーレスともいわれる現代の国際移動は、それぞれ意図された目的とは別に、国境を越えた文化情報の移動をもたらす。そして思わぬ文化的影響が生じることがある。本特論では、ヒトの移動によって生じる中南米地域のホスト社会における異文化接触について考察する。その際、異文化接触による現象である文化変容が、一つの文化の内部で起こる文化の変化であるのに対して、文化触変は外来の文化要素が受容されたときに起こる文化の変化であることに注目する。そして、このような文化のシステムにどのような変動（文化喪失、文化挿入、同化、異化）が起こるかの事例研究を中心に考察する。	
	東アジア地域文化特論	本講義は、東アジアにおける国家・政治・文化に関する理解を深めるため、各国・地域が経験してきた国民国家形成および国民国家史の創出に関する比較・検討を行う。本講義は主に中華圏の社会と地域を検討対象とするが、特に台湾や香港といった“周縁”的な地域を沖縄との比較の視座から分析することで、周辺からの地域研究とその手法について体得できるようにする。	
	東南アジア地域文化特論	本特論は東南アジア地域の歴史的な変遷に伴って、とくに宗教と社会との関係がどのように変化して現在に至っているのかという問題を軸として、総合的な分析を行う。とくに近代以降の国民国家の形成過程において、タイにおける上座部仏教が果たした役割や、植民地化マレーシアまた蘭領東インド（インドネシア）の独立に際してイスラームが果たした役割などに焦点を当てて論じる。歴史学の手法についての訓練を行うことと、東南アジアにおける事例を研究することで世界史や日本史における近時の事例について深い理解のための視座を獲得することを目的とする。	
	言語学特論	本特論の目標は、言語学的な批判的思考能力を向上させ、データ分析力を高めることである。具体的には、世界の諸言語の共通点・相違点についての理解を深め、統語論-意味論のインターフェースについてのより包括的な言語理論を構築することを目指す。すなわち、言語学の観点から日本語、英語、韓国語、中国語をはじめとする世界の様々な言語を分析し、統語構造と意味解釈との相関関係を分析する。その主な内容は、今までに国内外で公表された雑誌論文、文献を批判的に検討し、問題点を議論する事である。 授業計画は、毎回受講生が予め選び、批判的に精読した文献を要約し、その問題点を指摘する。それに対して、講義担当者が様々な先行研究の成果などをふまえてコメントし、対案・修正案を出すために受講生との議論を深め、世界の言語構造とその意味解釈との相互関係に関する理解を深める。	
	英語教育特論	アジアやヨーロッパ、北米の地域を中心に外国語教育について教育制度、教員養成、教科書、カリキュラム等を比較する。学術論文や、専門書、教科書、公文書のレビューとクラス討議により、諸地域の外国語教育の歴史のかつ文化的な背景から現状、そして今後の外国語教育の展望を理解し、グローバル化の進展に対応するために日本の外国語教育の在り方を探る。 特に本講義では英語教育を中心に検証を行う。小学校英語教育の各国・地域の歴史や現状のみならず、根拠となっている臨界期仮説について理解し、小学校英語教育の必要性について議論を深める。さらに、各国・地域の外国語教員養成制度や教育政策を比較する事により、外国語教育の背景となっている歴史的な背景や文化的な背景を理解する。また、各国・地域の教科書を比較する事により特にコミュニケーション能力の育成に対する相違について認識を深める。加えて、TOEFL iBTなどにより英語能力を各国・地域間で比較しながら、英語が母語話者だけの言語ではない、新たな英語言語モデルについて理解を深める。 新たな視点としては、多言語主義に加えて新たな外国語教育の潮流である複合言語主義（CEFR）について理解し、特定の地域のみならず全世界的な規模で外国語教育を理解し、今後の日本における外国語教育の方向性を提案する事を課題として与える。	

授 業 科 目 の 概 要

(国際文化研究科 国際地域文化専攻 (D))

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目	現代沖縄教育特論	<p>日本国内の中でも独特の歴史や文化を育んできた沖縄は、教育の世界でもユニークな歩みを刻み込んできた。特に、米国占領下の27年間（1945～1972年）は、米軍政による沖縄文教・外国語学校、琉球大学という高等教育機関の設立、日本本土では実現しなかった教育税制度の創設、公選制教育委員会制度から推薦制・任命制教育委員会制度への移行、地域の集落公民館における就学前教育（幼稚園）から公立幼稚園への制度化等の史的展開をみせた。これらは沖縄の住民の教育保障、教育自治・民主化運動とも連動したものである。各事象に関する一次資料と関係論考の分析を通して、個別具体的に事象のもつ意味を明らかにしながら、現代の沖縄・日本の教育の在り方について考察を深める。</p>	
	アジア太平洋国際関係特論	<p>本特論は、急速な経済成長と科学技術力の進歩を基にグローバル社会における存在感を飛躍的に高めているアジア太平洋地域の国際関係を考察する。具体的には、日本、アメリカ、ロシア、カナダ、中国、韓国、台湾、北朝鮮、オーストラリア、ニュージーランド及びASEAN諸国などによって形成されるダイナミックかつ複雑なアジア太平洋地域の国際関係について、批判的に分析する。特に、現在この地域において顕著な諸問題（外交、安全保障、通商、人権、民主化、環境破壊、貧困、開発、エネルギー、テロリズム等）の詳細なケーススタディーを通して、その背景と要因を的確に把握するための考察を重ねる。さらに、これらアジア太平洋地域の諸問題を、国際関係理論を応用して科学的な分析を試みることにより、論理的な解決方法を検討することを学ぶ。最終的には、受講生が、社会や政府にとって有益かつ実施可能な政策提言を行えるようになることを目標とする。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(国際文化研究科 国際地域文化専攻 (D))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	特別演習 I	<p>(概要) 博士論文作成にあたり、環太平洋地域における地域文化に関して研究指導を行う。特別演習 I では、各研究分野における先行研究を調査し、研究テーマの設定および研究計画書の作成を中心に指導する。</p> <p>(3 波照間 永吉) 琉球・沖縄文学に関する博士論文執筆を指導する。 特別演習 I では、研究計画書の作成を中心に指導する。まず先行研究と研究テーマの妥当性について調査・検討する。国内外の先行研究と現在の研究動向を十分に理解しつつ、自らの論文で分析・研究するテーマ及び研究方法の独創性の検討・確認を行う。</p> <p>(4 山里 純一) 南島地域の民俗文化に関する博士論文執筆を指導する。 特別演習 I では、問題関心および研究方法・計画について検討し、博士論文の研究テーマ設定に向けた研究発表を行い、適切な研究テーマを決定する。</p> <p>(5 赤嶺 守) 中国・琉球関係史に関する博士論文執筆に向けて、先行研究に対する評価及び批判的考察を試み、併せてプロットの構築、独創性について検討する。</p> <p>(1 山里 勝己) アメリカ環境文学に関する博士論文執筆に向けて、対象とする作品・作家の検討、研究方法、先行研究史等を分析し、論文の構想、妥当性及び独創性等について検討する。博士論文執筆に関して、作品、先行研究を含めた必要な文献目録の作成、研究方法の検討、テーマの絞り込み等を行う。</p> <p>(2 住江 淳司) 中南米地域文化に関する博士論文執筆を指導する。 特別演習 I では、関連文献の輪読、先行研究の理解を通じて研究史の作成の準備を行う。そして研究計画書の作成を中心にスケルトンを完成させる。それには国内外の先行研究と現在の研究動向を十分に理解しつつ、自らの論文では独創性の検討・確認を行う。</p>	
研究指導科目	特別演習 II	<p>(概要) 博士論文作成にあたり、「特別演習 I」に引き続き、環太平洋地域における地域文化に関して研究指導を行う。特別演習 II では、国内外の先行研究と現在の研究動向のさらなる検討、研究テーマに沿った文献の収集を継続し、文献の精読及び分析を行い、研究方法に関する指導および中間発表(第1回)に向けた準備と指導を行う。</p> <p>(3 波照間 永吉) 琉球・沖縄文学に関する博士論文執筆に向けて、幅広い文献収集、先行研究及び1次資料の厳密な読み込みと分析、指導教員・指導補助教員との討論、研究の進捗状況の確認と修正、文献リストの作成、基本的理論枠の検討、論文全体の概略の作成等を通して中間発表(第1回)に向けた基礎的な準備を行う。</p> <p>(4 山里 純一) 南島地域の民俗文化に関する博士論文執筆を指導する。 特別演習 II では、研究テーマに関連する先行研究の論点・問題点および研究史の整理を目的とした発表を行う。先行研究について完全に把握し、研究史を正確に把握することを目標とする。</p> <p>(5 赤嶺 守) 中国・琉球関係史に関する博士論文執筆に向けて、収集した関連史料の精読をおこない、引用史料としての立証性について検討する。</p> <p>(1 山里 勝己) アメリカ環境文学に関する博士論文執筆に向けて、対象とする作品の精読、研究方法の厳密な検討を行い、引き続き先行研究の分析をするとともに、論文の構想、妥当性及び独創性等について検討する。</p> <p>(2 住江 淳司) 中南米地域文化に関する博士論文執筆を指導する。 特別演習 I の学習内容の発展として、博士論文のテーマ設定を進める。それからテーマに沿った文献の蒐集・精読を行い、問題意識を明確にする。指導教員・指導補助教員との討論・研究の進捗状況の確認と修正、文献リストの作成を通して、中間発表(第1回)に向けた基礎的な準備を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(国際文化研究科 国際地域文化専攻 (D))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	特別演習Ⅲ	<p>(概要) 博士論文作成にあたり、環太平洋地域における地域文化に関して研究指導を行う。特別演習Ⅲでは、特別演習Ⅰ・Ⅱの成果を踏まえて博士論文の全体構想をまとめ、「学位請求論文作成計画書」の作成を中心に指導する。</p> <p>(3 波照間 永吉) 琉球・沖縄文学に関する博士論文執筆に向けて、特別演習Ⅰ・Ⅱの成果を踏まえ、指導教員を中心とした指導による報告・討論、研究理論に基づく1次資料の厳密な分析、多角的な視点からの検討、学会等での報告・発表を行いつつ、論文執筆及び修正を行う。</p> <p>(4 山里 純一) 南島地域の民俗文化に関する博士論文執筆を指導する。特別演習Ⅰ・Ⅱの成果を踏まえ、研究テーマに即した文献およびフィールド調査資料の分析・検討を踏まえた研究発表を通して、研究のオリジナリティを高める。</p> <p>(5 赤嶺 守) 中国・琉球関係史に関する博士論文執筆に向けて、体系的且つ精緻なデータベースの構築と解析をおこない、論考の実証性について検証する。</p> <p>(1 山里 勝己) アメリカ環境文学に関する博士論文執筆に向けて、対象とする作品の精読、研究方法の厳密な検討を行い、引き続き先行研究の分析をするとともに、論文の構想、妥当性及び独創性等について検討しつつ、部分的な執筆を開始する。</p> <p>(2 住江 淳司) 中南米地域文化に関する博士論文執筆に向けて、特別演習Ⅰ・Ⅱの成果を踏まえ、指導教員を中心とした指導による報告・討論、研究理論に基づく1次資料の厳密な分析、多角的な視点からの検討、学会等での報告・発表を行いつつ、論文執筆及び修正を行う。加えて博士論文の全体構想を定め、論文の目的、分析手法、理論展開、結論の妥当性について指導する。</p>	
研究指導科目	特別演習Ⅳ	<p>(概要) 博士論文作成にあたり、環太平洋地域における地域文化に関して研究指導を行う。特別演習Ⅳでは、「学位請求論文作成計画書」の到達状況を確認しながら、論文内容について指導する。また、中間発表(第2回)、学術誌への投稿や学会発表の準備についても指導する。</p> <p>(3 波照間 永吉) 琉球・沖縄文学に関する博士論文執筆に向けて、博士論文の草稿を提出し、指導教員・副指導教員等によるフィードバックを行う。また、研究に関するセミナーや学会へ積極的に参加する。さらに、学術誌への投稿・掲載を目指し、それに関する指導を行う。</p> <p>(4 山里 純一) 南島地域の民俗文化に関する博士論文執筆に向けて、全体的な構想を固めるために発表と検討を行い、学位論文の目次を提示する。</p> <p>(5 赤嶺 守) 中国・琉球関係史に関する博士論文の執筆に取りかかる。史料やデータベースを駆使した論理の展開の妥当性について検討し、全体の構想の充足を図る。</p> <p>(1 山里 勝己) アメリカ環境文学に関する博士論文執筆に向けて、対象とする作品の精読、研究方法の厳密な検討を行いつつ、論文全体の草稿の執筆を継続し、同時に、より厳密な報告及び検討を行う。</p> <p>(2 住江 淳司) 中南米地域文化に関する博士論文執筆に向けて、博士論文の進捗を確認しながら、論文の草稿を提出させ、その内容について指導する。加えて適宜、学会報告、学術論文の投稿等についても準備させる。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(国際文化研究科 国際地域文化専攻 (D))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	特別演習V	<p>(概要) 博士論文作成にあたり、環太平洋地域における地域文化に関して研究指導を行う。特別演習Vでは、特別演習IVまでの成果を踏まえて、学位請求論文の構成、各章で扱われる問題の提示・展開されるテーマの内容・資料と参考文献等をまとめた「学位請求論文執筆計画書」の作成および「学位請求論文概要」の作成を中心に指導する。</p> <p>(3 波照間 永吉) 琉球・沖縄文学に関する博士論文執筆に向けて、博士論文草稿について、迅速かつ的確なコメントを行い、必要に応じて指示・修正を行い、博士論文完成に導く。博士論文の一部が独立した論文となり得る場合は、積極的に学術誌へ投稿し掲載を促す。必要に応じて、専攻内の他の研究者の指導を仰ぐ。</p> <p>(4 山里 純一) 南島地域の民俗文化に関する博士論文執筆に向けて、各章の執筆と指導、補訂を重ね、骨格を完成させる。</p> <p>(5 赤嶺 守) 中国・琉球関係史に関する博士論文の執筆に取りかかる。各章における表・グラフの作成を行ない、それと論理の展開における整合性を検討する。</p> <p>(1 山里 勝己) アメリカ環境文学に関する博士論文執筆に向けて、対象とする作品の精読、研究方法の厳密な検討を行いつつ、論文各章の執筆を厳密に推敲しながら継続し、報告、検討、指導を行いながら論文の完成をめざす。</p> <p>(2 住江 淳司) 中南米地域文化に関する博士論文執筆に向けて、博士論文の完成に至る研究計画の立案について支援する。また、論文全体の構成を検討し、これまで査読付きの学会誌に投稿した論文を博士論文の一部として導入する場合には的確なコメントを行う。また必要に応じて、他の研究者の指導も仰ぐ。</p>	
研究指導科目	特別演習VI	<p>(概要) 博士論文作成にあたり、環太平洋地域における地域文化に関して研究指導を行う。特別演習VIでは、博士論文の完成、審査、口頭発表、公開発表、最終試験に向けて、分析手法、構成、結論の整合性、妥当性について検討、指導する。</p> <p>(3 波照間 永吉) 琉球・沖縄文学に関する博士論文執筆に向けて、指導教員および副指導教員による厳密な検討・指導を行い、博士論文の最終稿の完成に導く。</p> <p>(4 山里 純一) 南島地域の民俗文化に関する博士論文執筆に向けて、各章の再検討と補訂を重ね、全体の整合性と論証性を総点検し、学位論文を完成させる。</p> <p>(5 赤嶺 守) 中国・琉球関係史に関する博士論文を完成させる。論文の構成、体系的実証性、独創性および学術的意義、研究付録の整理等について、最終的な調整・確認をおこなう。</p> <p>(1 山里 勝己) アメリカ環境文学に関する博士論文完成に向けて、論文各章の執筆を厳密に推敲しながら継続し、報告、検討、修正、指導を継続しながら論文の完成をめざす。</p> <p>(2 住江 淳司) 中南米地域文化に関する博士論文の完成、最終審査と口頭発表に向けて、中間報告で受けた指摘を踏まえつつ、問題意識、分析手法、理論構成、結論の整合性・妥当性について副指導教員と厳密な検討を行い、博士論文の最終稿の完成に向けて指導する。</p>	

公立大学法人名桜大学 設置認可等に関する組織の移行表

平成30年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	平成31年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
名桜大学				名桜大学				
国際学群				国際学群				
国際学類	280	15	1,150	国際学類	280	15	1,150	
人間健康学部				人間健康学部				
スポーツ健康学科	95	5	390	スポーツ健康学科	95	5	390	
看護学科	80	5	330	看護学科	80	5	330	
計	455	25	1,870	計	455	25	1,870	
名桜大学大学院				名桜大学大学院				
国際文化研究科				国際文化研究科				
国際文化システム専攻(M)	6	-	12	国際文化システム専攻(M)	6	-	12	
				国際地域文化専攻(D)	2	-	6	専攻の設置(認可申請)
看護学研究科				看護学研究科				
看護学専攻(M)	6	-	12	看護学専攻(M)	6	-	12	
計	12	-	24	計	14	-	30	